

目次

- 「それぞれの学びをめざして」……………1
- 「まなびの心 かがやく人生」
石川県民大学校開校30年記念式典・平成30
年度修了証書交付式 ……1
- 「子どもふるさと博士講座」
「ふるさとふれあい講座」……………2
- 「ファミリー・カレッジ in 本多の森」
5年目を迎えました……………3
- まなびすとルームからのご案内……………3
- “出会い”(31)……………4
- お知らせ……………4
- Topics……………4

生涯学習センター だより



No.279
2019

ISHIKAWA LIFELONG LEARNING CENTER INFORMATION

令和元年11月29日発行／石川県立生涯学習センター 〒920-0935 金沢市石引4-17-1 石川県本多の森庁舎 TEL.076-223-9571
生涯学習センター ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/shakyo-c/>

それぞれの学びをめざして

石川県立生涯学習センター館長 平 聖一郎

当センターに来られる方々は、退職されて、あるいは子育てを終えられて時間的にゆとりが出てきた60～70代が中心ですが、中には80歳を超えて今なおかくしゃくと屋外での講座に臨まれる方、現役世代でありながらも寸暇を惜しんで聴講あるいは論文作成に励まれる方等、年齢層や学びの在り様は実に多様です。人生100年時代・体力・気力は必ずしも年齢に反比例せず、「青春とは人生のある時期でなく、心の持ち方を言うのだ」(サミュエル・ウルマン)という至言が思い出されます。

当センターの核となる県民大学校は平成2年6月に開校し、本年5月に開校30年記念式典を催しました。この間、平成11年に大学院を設置し15年には能登空港ターミナルビル内に能登校を開設していますが、延べ約17万人の方々が県民大学校で学ばれています。当センター以外の官民を問わない生涯学習施設を利用されている方々、あるいはグループや個人で生涯学習を实践されている方々を勘案しますと、生涯にわたっての学びを渴望する多くの方々の息吹が伝わってくる思いがします。

学校や会社、地域や家庭などではその規範や慣例に合わせていけば何となく格好はつきますが、それぞれが豊かな人生を送るためには、体力・気力に個人差があるように、一人ひとりが方策を模索し自分にとっての最適解を探り当てていくしかないように思えます。

当センターが、そのような県民の一助となる役割を果たすことができると願っています。



「まなびの心 かがやく人生」

～石川県民大学校開校30年記念式典・平成30年度修了証書交付式～



開校30年記念式典

記念式典を挙行政いたしました。

開校当時の年間入校者数は2,673名、講座数は223だったのに対し、平成30年度の入校者数は10,950名、講座数1,206と、県民大学校も大きく成長しました。

記念式典は、石川県議会議長、石川県市町教育委員会連合会長等のご来賓や、実施機関の代表、大学校修了生など、およそ120名の方々のご臨席のもと執り行われ、近10年において県民大学校に講座を提供し生涯学習の振興に功績があった8団体に感謝状が贈呈されました。

また、修了証書交付式には、平成30年度修了生806名(大

石川県民大学校は、今年、開校30年の節目を迎え、5月25日(土)に、恒例の大学校・大学院修了証書交付式に併せて、30年記

学校789名、大学院17名)のうち79名が出席され、学長の谷本正憲知事が修了証書を授与しました。修了生代表の二人はご挨拶の中で、受講が人生を見つめ直す機会になったこと、研究活動を通して石川の魅力や学ぶ楽しさに改めて気づいたことなど、生涯学習ならではの意義について述べられていました。

県民大学校は、県民の皆さまの誰もが、いつでも、どこでも学習できるよう、さまざまな機関のご協力をいただき、多様な学習機会を提供する役割を担っています。平成31年3月までの延べ入校者数は、17万人を超えるまでになりました。これからも、皆さまの多様な学習ニーズに応え、人生100年時代を支える一翼を担って参りたいと思います。



大学校・大学院修了生挨拶

「子どもふるさと博士講座」 ～君も、金沢城博士になろう！～



「子どもふるさと博士講座」は、石川の歴史・文化・産業等についての体験的な学びを通して、子どもたちのふるさとへの誇りと、郷土への愛着心を育むための講座です。今年度は「金沢城」をテーマとし、小学4年生から中学3年生を対象に夏休み期間中の5日間で実施しました。講座の様子をご紹介します。

第1回 「金沢城ってどんなお城？」

7月31日（水）講座初日。城と庭のボランティアガイドの高木信吉氏から、金沢城の歴史や役割についての説明を聞き、基礎知識を蓄えました。続いて前田土佐守家資料館学芸員の竹松幸香氏から、江戸時代の手紙の書き方を習い実際に書いてみました。

感想

- ・お城の役割がくわしく知れてよかった。
- ・古文書の書き方や折り方が知れて楽しかった。

第2回 「金沢城公園の見どころツアー」

8月1日（木）金沢城・兼六園管理事務所参与の浜田哲郎氏による案内で、石川門・河北門・菱櫓等を回りました。普段は入れない石川門の内部も見学でき、みんな、熱心に説明のメモを取っていました。

感想

- ・門の仕組みがすごいと思った。
- ・菱櫓が菱形の理由を知り、なるほどと思った。

第3回 「加賀藩主になろう」

8月6日（火）前回同様、浜田氏による解説で建築中の鼠多門と玉泉院丸庭園を見学し、玉泉庵では玉泉院



丸庭園を眺めながら抹茶をいただきました。作法についての説明もあり、涼しく優雅なひとときでした。ペーパークラフト体験では前回見学した河北門の制作に挑戦しました。実際の様子を思い出しながら集中して取り組んでいました。

第4回 「石垣の博物館・金沢城」

8月8日（木）金沢城・兼六園研究会の方々による解説で、「石垣クイズラリー」と題して金沢城公園内の石垣めぐりをしました。

感想

- ・石垣の積み方の種類が多くて驚いた。
- ・歩いて調べるのが楽しかった。
- ・クイズを解いていくのが楽しかった。

第5回 「クイズ『金沢城』」

8月9日（金）4日間の学習内容から出題された〇×クイズに挑みました。全問正解者も多く、子どもたちの理解度にはスタッフも脱帽！最後に受講実績に応じて博士・学士・研究員に認定されました。

「ふるさとふれあい講座」 ～いしかわの魅力を再発見しよう！～

「ふるさとふれあい講座」は、専門家による石川の歴史・文化・産業等をテーマにした講義型の講座です。今年度より新たに能登・加賀の文化施設を会場に各3回実施し、金沢会場と合わせて16回開講しました。講座の様子をご紹介します。

〇能登会場

七尾市、中能登町、穴水町で開催した能登会場の講座は、「本能寺の変と加賀・能登」「アエノコトとアマメハギ」「能登でつくる～糶をみらいの食卓へ～」がテーマでした。この講座に初めて参加するという方も多く、能登にお住いの方を中心にふるさとについて学ぶ機会となりました。



の中でも「加賀山中と芭蕉」は、今年、芭蕉加賀山中来訪 330 年という節目であることから、9月の現地講座でも同様のテーマを取り上げました。



〇加賀会場

白山市鶴来、小松市、加賀市で開催した加賀会場の講座は、「加賀守護富樫氏のれきし」「加賀山中と芭蕉」「北前船とふぐの卵巣の糠漬け」がテーマでした。そ

〇金沢会場

生涯学習センターを会場に、「金沢の菓子文化」「能登上布」「輪島塗」「加賀棒茶」「九谷焼赤絵細描」「加賀友禅」「鉄と日本刀」などをテーマに全10回開催しました。幅広い分野についての講演から、様々な石川の魅力を知ることができました。

「ファミリー・カレッジ in 本多の森」5年目を迎えました

この講座は、主に30歳代から40歳代の子育て世帯の皆さまを対象に、お子さまと一緒にご家族で楽しみながら参加していただける講座として、平成27年度に開講しました。センターでは、この講座へのご参加を機に、若い世代の皆様にも、生涯学習や県民大学校に関心をお持ちいただき、生涯を通じた学びを深めていただければと考えております。

令和元年度の「ファミリー・カレッジ in 本多の森」は、全5回の実施予定です。

第1回 4月27日(土)に石川県バトン協会理事長の島田久仁子さんを招いて「楽しいバトントワリング教室」と題してワークショップ型講演会を実施しました。

第2回 6月30日(日)に俳優・気象予報士の石原良純さんを招いて「日本の城の魅力を探る～金沢城を中心に～」と題した講演会を実施しました。「お城の楽しみ方を知って、今度城に行く時には、そういう視点で見てみたいです。話の内容も面白かったです。」「石原さんの博識ぶりに大変感動しました。お話も上手で1時間半あっという間でした。」「日本各地の色々なお城の見方、楽しみ方を聴けたので、出来る限り色々なお城を見学し、お聞きした様々な視点から楽しみたいと思いました。」等の感想が寄せられました。

第3回 8月3日(土)にオーケストラアンサンブル金沢弦楽四重奏の4名を招いて「OEKによる気軽にクラシック♪」と題して演奏会を実施しました。「ポップスからバロックまでバラエティに富んだ曲のプログラムで子供も飽きずに最後まで楽しめました。参加できてよかったです。」「子どもも知っている曲が沢山あり、楽しめました。楽器の話がとても興味深かったです。子どもはチェロを弾いてみたいと言っていました。」等の感想が寄せられました。

第4回 10月20日(日)に涌島英揮さんを招いて「岩



石からキラキラ光るキレイな結晶を取り出そう」と題して親子地学教室を行いました。講座では、凝灰岩からキラキラ光る鉱石を見つけ、その結晶を顕微鏡で観察しました。「子どもが夢中になって取り組んでいました。身近な場所に沢山の鉱物があることを知り、とても興味湧いたようです。」「結晶を取り出すなんて事は考えたこともなく、面白い体験でした。子どもは砂鉄取りが楽しかったようで、家の近くでも砂鉄取りを試みたいですよ。」「日常体験できない事を週末に親子で体験する機会があり、とても貴重な時間でした。必死に目を凝らして探す娘の姿が印象的でした。」等の感想が寄せられました。

第5回は2月1日(土)に「Let's sing and dance with Eric!～エリックと歌って踊って!2020～」と題して、ミュージシャンのエリック・ジェイコブセン氏を講師に小学生の親子を対象とした講演会を実施する予定です。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。



● 視聴覚ライブラリーより、新着映像教材のご案内

生涯学習センター視聴覚ライブラリーでは、生涯学習やお子様の情操教育に役立つ映像教材を順次整備し、県民の皆様は無償で貸し出しています。

最近配架となりました教材の一部を紹介します。

- ・「グラス・ホッパー」…群馬県・太田市を舞台に、ラグビーを通して小学生たちの成長を描く青春ドラマ。
- ・「えちてつ物語 わたし、故郷に帰ってきました」…えちぜん鉄道のアテンダント嶋田郁美さんのノンフィクション本「ローカル線ガールズ」をヒントに、東京から故郷の福井県にUターンする主人公の新人アテンダント・山吹いづみがふれあいを通して絆を紡ぐ感動の再生物語。
- ・「かわいい子犬 1」…子犬と遊ぼう! パパやママが子どもに教える子犬の習性と育て方! (ビーグル、パピヨン、ポメラニアン)
- ・子ども向け…「おしりたんてい6 プブツ やみよに きえるきよじん」「おまえうまそうだな」など。

このほかにも「いしかわ大百科」「げんき日記」「ふれあい空間いしかわ」などの県制作番組、「ハーヴェイ・ミルク」「ローザ・ルクセンブルク」「カミングアウト～10代の場合」などの人権教育のDVDが配架となっております。ぜひ、当センターホームページもしくは「あいあいネット」でご確認ください。

● 県民企画展示(マナビコーナー)について

まなびすとルーム内「マナビコーナー」では、生涯学習の成果の発表や交流の場として、県民の皆様作品を展示しています。なお、出展・入場は無料です。(出展の希望、展示の予定については、電話でお問い合わせいただくか、当センターのホームページでご確認下さい。)

● 石川県生涯学習情報提供システム「あいあいネット」について

「あいあいネット」では、県民の皆様にも県や市町等の生涯学習情報をインターネットで提供しています。

講演会やセミナー・教室の講師をお探しの方は「講師案内」から、当センター視聴覚ライブラリー所蔵の教材については「視聴覚教材情報」から、カテゴリーやキーワードでお探しいただけます。

このほか「講座案内」や「ふるさと情報」「イベント情報」などの提供も行っています。ぜひ、ご活用ください。

● 「あいあいネット」へのアクセスは…

URL <http://iinet.pref.ishikawa.jp/>

もしくは で

石川県立生涯学習センター まなびすとルーム

TEL 076-223-9574 FAX 076-223-9004



夢のありか

平成30年度県民大学校修了生 岡 朝子

子どもの頃、道草は楽しい遊びでした。学校帰りに田の畔で見つけた猫じゃらし、蓮華草、白詰草。季節の贈物はその季節にしか出会うことはなく、わくわくするような喜びを子どもの時代にもたらし続けてくれました。今、定年を過ぎ、いろいろなものを払い落とし、ようやく自分の人生の出発点に立った気がしています。

「道草」の途中で出会った草や花のように、今の自分の人生をわくわくさせてくれるもの、それは二つあります。ひとつは学生時代から書き続けている「詩」。もうひとつは、この年齢になり出会った「歌」です。詩は書き始めてから半世紀。ヘッセのような詩人になる夢は叶いませんでしたが、同人活動は自分と仲間たちとのかけがえのない軌跡であり、今も詩を書き続けています。叶わない夢をもつことは、砂の中に星を見つけるように難しいもので、希望は希望のままあり続けています。「歌」の方は、県合唱団に入ったことで、素敵な先生に恵まれ、仲間たちと共に歌う楽しさがいつも身近にあります。モーツァルトやベートーヴェン等作曲家の生涯や、音楽に込めた思いを学ぶことで、深い思いに気づき、歌に襟を正すこともしばしば。

思えば、自分のみちを照らす灯りのようなものを、人は生涯持ち続けることによって、生かされるものなのかもしれないと思います。出会った、趣味であり学びであるふたつのことに深く感謝しています。

お知らせ

令和元年度石川県民大学校大学院 「石川の博士」養成講座 論文発表会&記念講演

- ◇日時/令和2年1月18日(土) 13:30~15:40
- ◇会場/石川県立生涯学習センター 2階第3会議室
- ◇日程/13:30~14:30 論文発表会
令和元年度石川県民大学校大学院
受講生代表者による論文・講座企画書の発表
14:40~15:40 記念講演
「祖父犀星のエピソード」
講師(公財)金沢文化振興財団
室生犀星記念館
名誉館長 室生 洲々子 氏



- ☆受講無料
- ☆申込み 当センターにお問い合わせください。

- ◆お問い合わせ
社会教育グループ TEL 076-223-9572 FAX 076-223-9585

令和元年度(第50回) いしかわビデオ作品コンクール

作品募集

題材は自由!日々の活動やふるさと等をテーマに、あなたの想いを「実際に役立つ視聴覚教材」として、映像で表現してみませんか。

- ◇応募資格/県内に在住もしくは勤務する個人またはグループ

- ◇募集部門/①教材部門(上限時間15分程度)
 - ・学校(幼稚園等含む)で活用する教材
 - ・公民館等の生涯学習施設で活用する教材
 - ・学校紹介ビデオ
- ②一般部門(上限時間7分程度)
 - ・上記①以外の作品

- ◇応募締切/令和2年1月31日(金)(当日消印有効)

- ◆お問い合わせ(応募先)
石川県視聴覚教育協議会事務局
(学習情報グループ内)
TEL 076-223-9573 FAX 076-223-9585



~ Topics ~

生涯学習センターでは、10月25日(金)から11月2日(土)までの9日間、「マナビフェア in 本多の森 2019」を開催しました。期間中は「オリンピック・パラリンピック・カレッジ in 本多の森」をはじめ、講演会、映画会、書道パフォーマンス、ハンドベル演奏などのイベントと、オリンピック・パラリンピック写真展などの展示を実施しました。

書道パフォーマンス



ハンドベル演奏



オリンピック・パラリンピック写真展



石川県立生涯学習センター

〒920-0935 金沢市石引4丁目17-1
石川県本多の森庁舎2階

- ・総務グループ 076-223-9571
- ・社会教育グループ 076-223-9572
- ・学習情報グループ 076-223-9573
- ・FAX 076-223-9585
- ・まなびすとルーム TEL 076-223-9574
- FAX 076-223-9004

石川県立生涯学習センター 能登分室

〒929-2392 輪島市三井町洲衛10部11番1
能登空港ターミナルビル4階

TEL 0768-26-2360 FAX 0768-26-2361



講義室・会議室・作業室等をお貸ししています。
詳しくはホームページでご確認ください。

ホームページ URL ... <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/shakyo-c/> (もしくは で)